

(様式6)

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成16年 5月14日)

事業コード	H16-建-新-2			区 分	国庫補助・県単独
事業名	地方道路交付金事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	1次改築(バィラス)			課 室 班 名	道路建設課 調整・企画班 (tel)2483
路線名等	主要地方道 男鹿琴丘線			担当課長名	佐藤 紀一
箇所名	男鹿市 百川			担当者名	主幹兼班長 加賀屋建一
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	4	施策名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備	
	目標コード	2	施策目標名	県道の整備促進	

1. 事業の概要

事業期間	H17~H25(9年)	総事業費	19.7億円	国庫補助率	5.5/10		
事業規模	延長L=3,800m、幅員(構成)W=6.0(8.5)m (1.25-3.0-3.0-1.25)m						
事業の立案に至る背景	当該路線は、若美町から男鹿市街地への通勤、通学、通院等の日常生活を支援するとともに、観光拠点である寒風山への能代地区からのアクセス道路となる重要な路線である。当該区間は、バス路線及び通学路でもあり、地域住民にとって欠かせない道路であるにもかかわらず、幅員狭小、急力-プで、歩道もなく、人身事故が毎年のように発生しているため、円滑な交通の確保と地域住民の安全性確保を早急に図るため、新規箇所として要望するものである。						
事業目的	【主たる目的】 大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援) 車道幅員3.0m 最小半径15m 【その他】 通学路における歩道未整備箇所の解消(安全な生活環境の確保) 歩道なし 冬期末改良区間の解消(道路の防災対策・危機管理の充実) 路肩幅員0.5m						
事業費内訳	(単位:千円)						
		全体	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度以降	
事業内容	事業費	1,970,000	50,000	100,000	200,000	1,620,000	
	経費内訳	工事費	1,490,000			100,000	1,390,000
		用補費	450,000	20,000	100,000	100,000	230,000
		その他	30,000	30,000			
	財源内訳	国庫補助	1,083,500	27,500	55,000	110,000	891,000
		県債	840,000	21,000	42,000	85,000	692,000
		その他					
一般財源	46,500	1,500	3,000	5,000	37,000		
事業内容		詳細設計 用地補償	用地補償費	用地補償費 改良工	用地補償費 改良工		
調査経緯	平成13年度 概略設計 平成14年度 予備設計 平成15年度 交差点設計						
上位計画での位置付け	総合計画における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	ほ場整備事業 男鹿市若美町市町村合併協議会(法定協議会 H16.3.24発足)						
事業を取り巻く情勢の変化	幅員狭小、急カーブで歩道がないため、人身事故が毎年発生している。(1件/年程度)						
事業効果把握の手法	指標名	路線改良率		データ等の出典	道路現況調書		
	指標の種類	成果指標	業績指標				
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)					
	目標値a	67.5%(秋田県)					
	実績値b	56.7%(男鹿琴丘線)					
達成率b/a	84.0%		把握の時期	改良率:平成16年4月			

2. 所管課の1次評価

(男鹿市 百川地区)

観 点	評価の内容(特記事項)	評価点
必 要 性	バス路線、通学路指定路線であるにもかかわらず、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難であり、かつ歩道もなく人身事故がほぼ毎年発生しているため、事業実施は妥当である。 現道は、事故率も71件/億台キロ年と高いため早急な改良が必要である。	38点
緊 急 性	交通量の増加が見込まれており、ほぼ毎年人身事故が発生している。 市町村合併に資する道路として位置付けている。	10点
有 効 性	安全な生活環境の確保 地域づくりの支援 道路の防災対策・危機管理の充実 県の「生活圏30分形成道路」の区間であり、整備後の有効性は高い。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は1.0以上であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値17.5億円 ・総便益の現在価値26.6億円 概略設計において、最も事業費の少ないルートを選定している。	13点
熟 度	男鹿市から、早期整備に関する要望書が県に提出されている。	15点
判 定	ランク (○) 判定ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきと考える。	91点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 選定 <input type="radio"/> 改善して選定 <input type="radio"/> 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

4. 財政課長意見

総合評価	<input checked="" type="radio"/> 選定 <input type="radio"/> 改善して選定 <input type="radio"/> 保留 若美町方面から男鹿市街地への通勤、通学等の利用に供されている道路であるが、当該区間は、幅員狭小であり、かつ急カーブで歩道も整備されていないことから、毎年のように交通事故が発生している。このため、新たにバイパスとして整備しようとするものであり、事業実施は妥当と考える。	意見内容	<input type="radio"/> 選定 <input type="radio"/> 改善して選定 <input checked="" type="radio"/> 保留 住民の安全確保対策については別途検討する必要があるほか、交通量が少ないこと等当該区間周辺も含めた路線全体のあり方を検討すべきと考える。
------	--	------	--

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	<input checked="" type="radio"/> 選定 <input type="radio"/> 改善して選定 <input type="radio"/> 保留 事業実施は妥当である。
------	--

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所を国に新規要望する。 ・事業実施に当たっては、コスト縮減に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価および対応方針を可とする。

別表6 (17)

公共事業箇所評価基準

評価種別 (新規箇所) ・ 継続箇所 事業コード (H16 - 建 - 新 - 2) 箇所名 (男鹿市 百川)

適用事業名 道路改築事業(地域内・生活圏交通促進)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員 < 5.5m ・最小半径 < 100m ・最急勾配 > 5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	(25)		25
		2箇所	20		
		1箇所	15		
		0箇所以上	0		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・現道の事故率 50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生		5件該当	15	13
			4件該当	14	
			3件該当	(13)	
			2件該当	12	
			1件該当	10	
計		該当項目なし	0		
			40	38	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	(4)	4	
		なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	(3)	3	
		位置づけなし	0		
	交通量	増加している	(3)	3	
		増加していない	0		
	特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	5	0	
		なし	(0)		
計			15	10	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送道路及び生活圏30分 形成道路等	該当する	(5)	5	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	(5)	5	
		該当しない	0		
	地域防災計画画上重要な道路	該当する	(5)	5	
該当しない		0			
計			15	15	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.0以上	(8)	8	
		0.5以上~1.0未満	6		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	7	5	
		500台/日以上~1,000台/日/未満	(5)		
300台/日以上~500台/日/未満		3			
300台/日未満		0			
計			15	13	B/C = 1.57 T42 = 873台/日
塾度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	(5)	5	
		口頭要望あり	3		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	(5)	5	
		用地反対	0		
	地元への方針説明	あり	(5)	5	
		なし	0		
計			15	15	
合計			100	91	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
○	優先度がかなり高い	80点以上	91	判定ランク であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきと考える。
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		